

商店街さんぽ

第6回



連坊商興会

地域との絆を強みに
活気あふれる商店街の
伝統と魅力を
伝えていきます



黒田会長（下段右から2人目）
ほか、役員の方皆さん。

〈商店街プロフィール〉
会長：黒田 昌稔 氏
（南大黒屋製菓 代表取締役）
設立：1952年3月
住所：仙台市若林区連坊2-1-1
TEL：022-256-2211

隔月で市内商店街（会）の取り組みや魅力を紹介する当コーナーの第6回目は、連坊商興会の黒田昌稔会長からお話を伺いました。

子どもたちをはじめとした多くの方々とのふれあいを大切に

当商店街は、連坊小路から木ノ下までのエリアに位置しています。発足は1951年で、当時の催事をきっかけとして発起人が集まり、正式には1952年3月に「連坊東部商工会」という名称で設立しました。その後2000年4月に「連坊商興会」と改称し、現在に至ります。



オモシロ街教室でのお菓子づくり講座の様子。各店の店主や従業員の個性を生かした講座を通じて、商店街の魅力を発信している。

「連坊」という地名は、薬師堂の門前からこの小路に沿って塔頭（たとう）（※）が連なっていたことなどが由来とされており、日本で唯一の地名と言われている。「連坊」という地名は、薬師堂の門前からこの小路に沿って塔頭（たとう）（※）が連なっていたことなどが由来とされており、日本で唯一の地名と言われている。

古くからの住宅街ですが、地下鉄東西線の開通をきっかけに、新たに移り住む方も増えています。

当商店街では地域に根差した多くの取り組みを行っています。長く力を入れているのは、地域の小中学生を対象にした総合学習や体験学習の受け入れで、各店の店主たちとのふれあいを通じて、働くことや街の歴史などへ理解を深めることができる内容となっています。将来を担う子どもたちに、各店での体験や地域イベントを通じて、地元商店街の魅力と地域の温かさを伝えていくことは、とても大切なことだと思っております。これからも継続していきたくと考えています。

また、隣接しているむにゃむにゃ通り商店街商興会・薬師堂商興会との共催で「オモシロ街教室」というイベントを年二回ほど開催しています。この企画は、各店の店主らが講師となっており、さまざまなテーマで講座を開き、お客さまが来店するきっかけをつくることを目的としたイベントで、親子や遠方の方にも参加いただけます。このイベントでは、コミュニケーションを大切にしていますので、各店ともなるべく会話の時間を長く取るようにしています。この街教室がきっかけとなり、連坊へ来訪していただく機会が増えればうれしいですね。

ONE TEAMで作り上げる
オリジナリティーあふれる七夕まつり

当商店街では、毎年仙台七夕まつりに参加しており、7年連続で金賞を受賞しています。この地域の七夕飾りの特徴は、商店街のメンバーが、地元の寺院から一本一本丁寧に切り出した笠竹を使用し、商店街に加盟するお店だけでなく、地元の幼稚園や小中学校、デイサービスの利用者、仙台二華高等学校のOGなどの個人の方々も参加して、1年間かけて作り上げた力作が並ぶことです。

2009年からは、飾り以外にも、七夕期間に合わせて「連坊七夕チャリティー茶会」というお茶会を実施し、お抹茶と七夕をデザインした和菓子を提供しています。

当商店街は歩道が広いので、小さな子どもや年配の方のほか、車いすの方も楽しく観賞できますので、「ONE TEAM」で作り上げている七夕飾りをぜひご覧いただきたいですね。

伝統文化を守りながら

地域一体となって街を盛り上げたい

これからの目標としては、4年後に控えた宮沢橋と仙台駅東部を結ぶ「宮沢根白石線」の開通に向けて、利便性・回遊性を高めることです。そのためには、新



七夕チャリティー茶会での売り上げは、震災孤児・遺児の生活支援のために支援基金へ全額寄付している。

をはじめとした方々に愛し続けていただける地域になれるよう、時代や社会情勢の変化に的確に対応し、さまざまな声を集めながら街づくりを進めていきたいと思っております。

※塔頭：大寺・名刹に寄り添って建てた小院。

年間の主な催し・イベント

- オモシロ街教室（5・10月開催）
- ※むにゃむにゃ通り商店街商興会・薬師堂商興会との共催
- ひまわりプロジェクト（5～7月開催）
- 須賀神社祭典（7月開催）
- 連坊七夕まつり（8月開催）
- 年末大売り出し（12月開催）